

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2000-167245(P2000-167245A)
【公開日】平成12年6月20日(2000.6.20)
【出願番号】特願平10-361907
【国際特許分類】

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 13/00 P

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】 プレーヤーが釣り用の操作部を用い、ゲーム空間内において、仕掛けを操作して魚を釣り上げるゲームを行うためのゲーム画像を生成するゲームシステムであって、

前記操作部からの操作データと、魚を仕掛けに誘うための最適条件との適合度に基づき、プレーヤーの操作を評価するための評価手段と、

前記評価に基づき評価結果伝達データを生成し、プレーヤーへの伝達手段へ向け前記評価結果伝達データを出力するための評価結果生成手段と、
を含むことを特徴とするゲームシステム。

【請求項2】 請求項1において、

前記伝達手段は、前記評価結果伝達データをゲーム画像の一部としてリアルタイムに表示するための手段を含むことを特徴とするゲームシステム。

【請求項3】 請求項1、2のいずれかにおいて、

前記仕掛けは、ルアーを含み、

前記最適条件は、魚の捕食範囲とルアー位置との適合条件を含み、

前記評価手段は、魚の捕食範囲とルアー位置とが適合している場合に適合していない場合と比べて評価を高めることを特徴とするゲームシステム。

【請求項4】 請求項1～3のいずれかにおいて、

前記仕掛けは、ルアーを含み、

前記最適条件は、魚の種別ごとに設定され、

前記評価手段は、魚の種別とルアー操作とが適合している場合に適合していない場合と比べて評価を高めることを特徴とするゲームシステム。

【請求項5】 請求項3、4のいずれかにおいて、

前記ルアー操作に応じて前記捕食範囲および魚の視野範囲を制御するための魚制御手段を含むことを特徴とするゲームシステム。

【請求項6】 請求項2～4のいずれかにおいて、

前記評価に基づき、魚の掛かり、釣り上げる魚の大きさおよび得点の少なくとも一つを決定するための釣果決定手段を含むことを特徴とするゲームシステム。

【請求項7】 プレーヤーの操作する釣り用の操作部からの操作データに基づき、ゲーム空間内において、プレーヤーが仕掛けを操作して魚を釣り上げるゲームを行うためのプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体であって、

コンピュータを、

前記操作データと、魚を仕掛けに誘うための最適条件との適合度に基づき、プレイヤーの操作を評価するための評価手段と、

前記評価手段による評価に基づき評価結果伝達データを生成し、プレイヤーへの伝達手段へ向け前記評価結果伝達データを出力するための評価結果生成手段として機能させることを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 8】 請求項 7 において、

前記評価結果生成手段は、前記伝達手段として機能する画像表示手段へ向け、前記評価結果伝達データをゲーム画像データの一部として出力することを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 9】 請求項 7、8 のいずれかにおいて、

前記仕掛けはルアーであって、

前記ルアーの操作に応じて前記捕食範囲および魚の視野範囲を制御するための魚制御手段としてコンピュータを機能させることを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 10】 請求項 7～9 のいずれかにおいて、

前記評価に基づき、魚の掛かり、釣り上げる魚の大きさおよび得点の少なくとも一つを決定するための釣果決定手段としてコンピュータを機能させることを特徴とする情報記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、釣りゲームにおけるプレイヤーによる仕掛けの操作を評価し、評価結果をプレイヤーに伝達することのできるゲームシステムおよび情報記憶媒体を提供することにある。